

熊本県天草市における「子どもの第三の居場所」学習・
生活支援モデルの運営（1年目）

2023年度 事業報告書

一般社団法人

熊本私学教育支援事業団

1 事業計画

(1) 事業目的

生き抜く力を育む「子ども第三の居場所」を開設・運営する。行政、NPO、市民、企業の方々と協力し、誰一人取り残さない地域子育てコミュニティをつくることで、「みんなが、みんなの子どもを育てる社会」を目指す。
自然豊かな環境の下で、困難を抱えた子どもたちが安心して過ごせる居場所をつくる。

(2) 目標

- ・2023年5月1日までに「子どもの第三の居場所」を開設する
- ・運営開始までに関係各所（自治体・学校・SSW など）へ事業の説明会を実施する
- ・2024年3月31日までに一日平均利用児童数を30名にする
- ・児童への居場所、食事、生活習慣支援、学習支援などの安定的な提供
- ・ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係構築
- ・子どもの「経験の不足」を解消するような定期的なイベントを事業期間内に20回実施する

(3) 事業内容

熊本県天草市における廃校を活用した子どもの居場所の開設

- (1) 物件現況：公共用施設（築16年）
- (2) 取得形態：行政財産使用許可（使用料免除、光熱水費のみ実費徴収予定）
- (3) 工事内容：木工事、電気工事、空調設備工事、配備配管工事、サッシ入れ替え工事、サイン工事など
- (4) 施設名称：旧天草市下田小学校（2013年に廃校）
- (5) 面積：総面積約2,419㎡
- (6) 構造：鉄筋コンクリート造2階建
- (7) 施設概要：食事・交流・学習スペース、キッチン、お風呂、相談室など

2 事業実績

(1) 利用者実績

熊本学習支援センター・天草下田南校 利用状況（令和6年9月～令和7年3月）									
							令和6年4月8日 現在		
			9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		利用者数（単位：人数）	5	6	6	3	3	8	15
		延べ利用日数（単位：日数）	18	41	36	25	17	29	51
利用者 内訳	高校生	滞在（単位：人数）	3	2	2	0	0	1	2
		通い（単位：人数）	0	1	1	1	1	1	1
	中学生	滞在（単位：人数）	1	2	2	1	0	3	8
		通い（単位：人数）	1	1	1	1	1	1	1
	小学生	滞在（単位：人数）	0	0	0	0	0	1	2
		通い（単位：人数）	0	0	0	0	1	1	1
	居住地	天草市内（単位：人数）	1	2	2	2	3	3	3
		天草市外（単位：人数。カッコ内は県外者人数）	4（1）	4（1）	4（1）	1（1）	0	5	12

※開校式、文化祭等イベントのみ参加者は除く

(2) 学習支援等実績

①学習等支援

各生徒の興味関心、必要等に応じて、わかる範囲で事前に計画を組み、実施した。教材は生徒の持ってきた参考書や問題集のほか、職員が用意した。また、生徒の興味関心に応じて、音楽や IT を専門とする講師二人を雇用し、積極的に生徒が講習を受ける様子が見られた。

②生活習慣支援

宿泊施設を有効活用し、起床、食事の準備、学習、運動、入浴、就寝指導等、職員が適宜指導することができた。その結果、ふだんは朝起きられない、夜眠れない、食事をあまり食べない等、生活習慣が整っていない生徒が、朝起きられたり、食事したり、夜は早く寝られたりするようになることが多かった。

③居場所支援

天草市内の不登校の生徒について、居場所として機能したことにより、遠距離にもかかわらず（車で30分以上）、ほぼ毎日通うことができたようになった生徒もいた。また、宿泊施設を有効活用し、児童養護施設から出てきて一時的に居場所がない生徒に対して、食事の提供や安全な就寝場所などの提供をすることができた。

(3) 地域、行政、学校との関係構築等実績

地域：毎月1回、地区振興会・支所関係者・当事業所と定期的に連絡協議会を実施した。また、地元のまちづくり協議会や、振興会主催のイベント、お祭りなどに参加した。

行政：天草市・熊本県と定期的に協議を実施。また、社会福祉協議会の研修も4回ほど受け入れ、実施した。

学校：地元の小・中学校を相互訪問するほか、天草市内の小学校・中学校を10数校訪問するなどした。

(4)「経験の不足」を解消するようなイベント実施

・開校式 (R5年8月)



・下田南地区例大祭 (R5年9月)



・文化祭 (R5年 11月)



・デコポン収穫体験 (R5年11月)



・クリスマス会 (R5年12月)



・バレンタインパーティ (R6年2月)



・恐竜博物館見学（R6年3月）



他、

・下田南地域で実施しているモルックやミニバレーなどに複数回参加





- ・寮にて宿泊体験に複数回参加

3 事業総括

(1) 事業の成果

- ・行政、地域、社会福祉協議会、各学校等に随時説明を行ったことによって、広く理解が得られ、認知度を高めることができた。
- ・マスコミの取材を複数受け、当事業について、広く周知することができた。
- ・宿泊施設を設け、不登校生徒を受け入れ、生活体験を実施することによって、基礎的な生活習慣や、安定した食生活、学習支援、人間関係の構築等、一定の成果を得ることができた。
- ・地域住民や行政、学校、関係者等と基本的な信頼関係を築き上げたことによって、さまざまな点で、協力を得ることができた。
- ・2024年の7月までに、一日平均利用生徒数を5名に、10月までに10名に達するのを目指す。

(2) 今後の課題と対応策

- ・地元関係者から情報を集める中で、当事業へのニーズはあるが、経済的な理由や地理的に遠くて送迎が困難などの理由から利用できないケースが複数あることが確認された。そこで、行政へ利用補助等の支援を提案するとともに、送迎サービスの拡充などを試験的に実施してみることもとなった。
- ・宿泊を伴う支援の場合、宿直や食事の提供等ふくめ、人員が不足していることが明らかに

なった。そのため、2024年度においては、人員体制の充実を図ることとした。

・テレビやラジオ、新聞等での紹介が何回かあったが、広報活動として十分に活用できているとは言い難く、期待していたほど問い合わせ・利用者増には結びつかなかった。そのため、2024年度においては、HP や SNS 等を積極的に活用して、広報に努めることとした。

5. 事業成果物

① 職員室・事務室・校長室→エアコン取替・照明器具取替



② 保健室→エアコン取替・ウォシュレット交換・ガス給湯機新設・電源新設



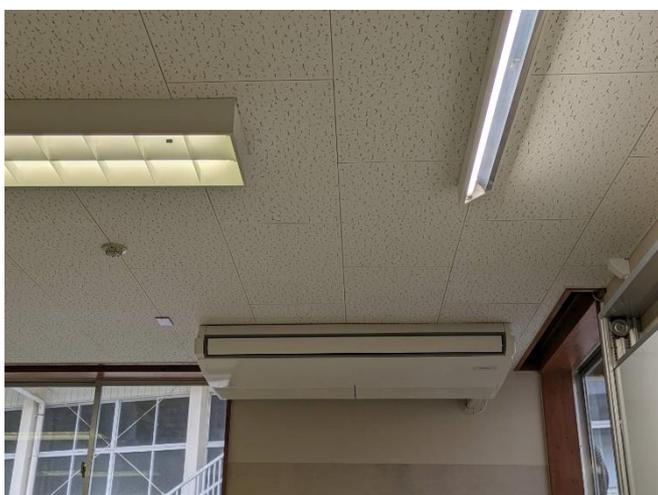
③ 普通教室→エアコン新設・照明器具不良部分のみ取替



④ 音楽教室→エアコン新設・電源新設



⑤ 家庭科教室→エアコン新設・ガス給湯器新設



⑥ 和室・リフレッシュルーム→エアコン新設・電源新設・下足箱新設・畳敷き込み



⑦ 男女シャワー室・トイレ（1・2F）・洗面所→シャワーブース等設置・洗面台設置・ウォシュレット新設





⑧ 普通教室（2F）・理科教室→タイルカーペット敷き込み・エアコン新設

